

地域社会のために、ひたむきに。  
次の100年のために、着実に。



# さはら 充 恭

発行所 〒448-8651 刈谷市豊田町1丁目1番地トヨタ紡織労組内

## 1) 8/7 役職改選が行われました。

8/7の臨時会で役職改選が行われ、令和7年度の市議会3役、常任委員会及び附属機関の委員等が選出されました。

私は今期、トヨタ系会派「市民クラブ」の会長を拝命するとともに、福祉産業委員会及び議会運営委員会の委員を務めてまいります。

各委員会に所属する会派メンバー6名で力を合わせ、様々な提言活動に全力で取り組んでまいります。



## 2) 各種のイベントや会合で皆様と交流しました。

8/13.14 重原地区盆踊り



8/15 かりや盆フェス



8/19 三河西地協議員懇

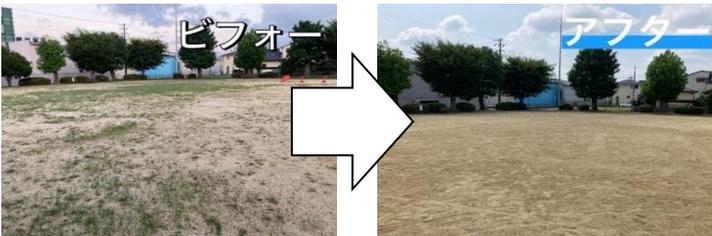


8/30 トヨタ労組期初研修

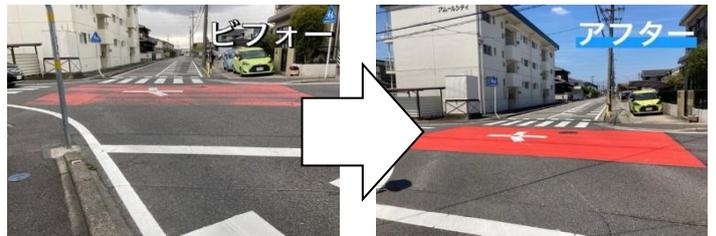


## 3) 皆様の声に基づき市内をカイゼンしました。

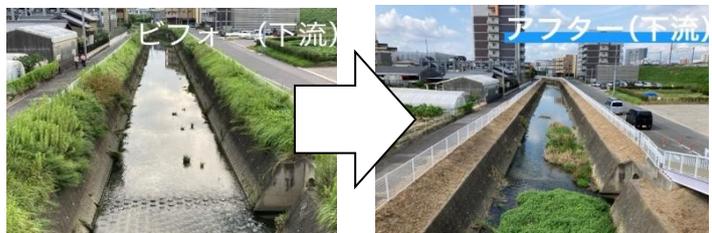
幸公園の広場を除草



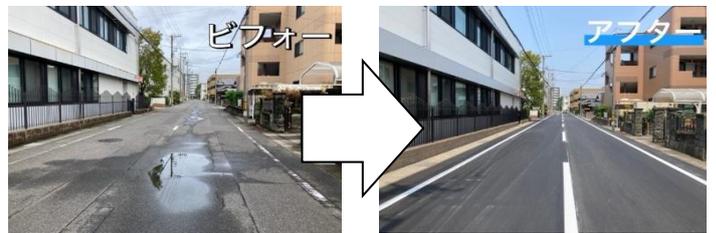
交差点の路面標示を塗り直し(恩田町)



薬師川の堤防を除草



経年劣化した路面を再舗装(幸町)



# 4) 8/15 '26年度予算編成に向けた政策要望書を提出しました。

8/15 トヨタ系会派「市民クラブ」は、刈谷市の2026年度予算編成に向けた政策要望書を稲垣市長に提出しました。私は会長としてこの要望書に込めた思い、例えば、重要事業には熱意と決意を持って取り組む事、既成概念を捨てて市民ニーズの変化に対応する事などをお願いしました。その後は市長及び市幹部各位と意見交換をし、ひとつでも多く予算化して頂けるよう要望しました。



政策	さはらの主な要望事項	目的、事業効果等
安全で快適な暮らしづくり	① 刈谷駅周辺の再開発及び高度利用の更なる推進	リニア開通や新たなモビリティ社会に対応可能な駅および駅前づくりと高度利用が求められている。
	② 河川の治水対策	沿線に刈谷豊田総合病院や福祉施設がある下り松川は、早期の浚渫を要する。
	③ 街区公園の更なる利活用	地域交流が希薄化している。健康遊具の設置やマルシェ開催など、健康づくりと交流が進む公園づくりが必要。
	④ 魅力あふれる公園づくり構想の事業費や優先順位の公表	事業規模を早期に明らかにし、市民の理解を得ていく必要がある。
全世界が学ばせ、夢と誇り	⑤ 市ゆかりのトップアスリートへの更なる支援	必要に応じ、所属先やスポンサーのマッチング、セカンドライフ支援等を行い、バックアップするとともに市外流出を防ぐ。
	⑥ 刈谷高校付属中学と他の中学校との教育連携	生徒の個性を伸ばす刈高付属中の指導事例を他校にも横展開すれば、本市の教育の底上げにつながる。
	⑦ 小学校の部活動の地域移行の円滑な推進	民間クラブの受け皿がある体育系以外、金管バンド等の文科系部活動の受け皿づくりを完了する必要がある。
	⑧ 技能系のものづくりを体験できる施設や場所づくり	技能系人材の不足や高齢化は大きな課題。子ども達が身近な場所でのものづくりに親しめる環境づくりが人材育成につながる。
成長を促す産業の持続的	⑨ カーボンニュートラル(CN)推進本部の設置	ゼロカーボンシティ宣言市として、CNの専門部署を設置し、進捗状況を統括管理する事は必須。
	⑩ 脱炭素に市民や事業者が積極的に参加できる仕組みづくり	CN目標達成には、市民・事業者の協力が不可欠。家庭廃油の再燃料化など、市民にわかりやすい取り組みが必要。
	⑪ 環境対応車補助(FCV、EV、PHV)に中古車購入を追加	市独自かつ先進事例として導入し、環境対応車の更なる普及をはかれば、インフラ整備にも貢献できる。
	⑫ スタートアップやスマートシティの取り組みの最適化	現状は分散している各機能を適宜連携させ、イノベーション効果を最大化させる。
誰もが安全かつ安心して暮らせるまちづくり	⑬ 特殊詐欺等から市民を守る対策の強化	犯罪は多様化、複雑化、巧妙化している。防犯用品の購入補助の更なる周知や啓発等が求められている。
	⑭ 女性の地域防災リーダーの育成	女性に配慮した避難所運営の為には、女性の防災リーダーの育成が必須である。
	⑮ 乱横断や自転車の無謀運転等を防ぐ対策を実施すること。	刈谷駅周辺の乱横断が収束していない。法的・物理的対策、ICT化による対策等、防止策を再度講じるべき。
	⑯ 知的障がい者、発達障がい者、精神障がい者の雇用受け皿拡大	市内の就労事業所が廃業しており、景気が悪化すれば更に増える恐れがある。市が主体的に雇用の受け皿を創出すべき。
その他要望	⑰ 天候に左右されず利用できる、屋内遊具施設の設置	近年の高温多雨化により、夏季に屋外で遊ぶリスクは更に高まっており、屋内で学び遊べる施設の設置はもはや必須。
	⑱ 公共施設にマイボトル専用無料給水機を設置	水道直結の浄化水の供給は、安価かつSDGsの理念に合致し、カーボンニュートラルや防災にも貢献する取り組みである。
	⑲ 廃食用油のリサイクルや再燃料化の促進	せつけん、インク、飼料、バイオディーゼル燃料、航空燃料等へのリサイクルは必須の取り組み。
	⑳ ペット同伴避難ができる環境づくりを進めること。	大規模災害時にはペット同行避難が多数発生する。同行避難に加え、同伴避難、同室避難もできる環境づくりは必須。